

新しい生活文化を発信する

AIM

主な記事

- 1面 AIM開館10周年記念事業
有馬真喜子さん講演と、立川市第4次男女共生社会推進計画(案)中間報告
- 2~3面 10年目のAIM「出会えてよかった」
I'm glad to see you.
- 4面 AIM・この人/AIMインフォメーション

12/10 NO.11

2004(平成16)年
年3回(8月・12月・3月)発行

発行/立川市女性総合センター
企画・編集/市民編集委員
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2
☎042-528-6801 FAX042-528-6805
e-mailアドレス tc-aim5@m-net.ne.jp

男女共生社会の実現をめざして

第二部 立川市第4次男女共生社会推進計画(案)

私たちが21世紀にめざすのは、男女が互いの人権を尊重し、性別にとらわれず、社会のあらゆる分野に自らの意思で参画し、ともにいきいきと豊かに暮らせる社会です。

そんな社会をめざして、いま立川市では、男女共生社会推進会議により、「男女共生社会推進計画(案)」の策定が進められています。その中で、第2部でその中間報告会が開かれました。



推進委員の生の声で、推進計画(案)が語られました。

深尾会長他7名の委員により、主要課題とそれに対する施策方針、具体的な施策などが報告されました。

立川市の地域性を踏まえた条例づくりなど、今後さらに審議を重ねていくとの報告もあり、会場の参加者は熱心に聞き入っていました。

市民参画で行政と共に進むことが不可欠、と有馬さん



有馬 真喜子さん
朝日新聞記者、フジテレビニュースキャスターとして活躍後、国連婦人の地位委員会日本代表、横浜女性フォーラム館長、国民生活センター会長などを歴任。現在、(財)横浜市女性協会顧問、国民生活審議会委員。

第一部

「考えよう！私たちの生き方、暮らし方」

講師 有馬 真喜子さん

去る10月16日、AIM開館10周年を記念して、立川市と立川市男女共生社会推進会議の主催により、記念講演会及び、男女共生社会推進計画(案)の中間報告会がAIM1階のホールで開催されました。今回は、有馬真喜子さんの講演の概要と中間報告会の様子、参加された市民の意見を紹介します。

男女共同参画と消費者問題は21世紀の重要課題です。その証拠にどちらも今、世紀の変わり目に、新しい法律と新しい体制が整えられました。

「男女は社会の対等な構成員である」「社会のあらゆる分野に参画する機会が保証されている」「男女は均等に利益を享受できる」「共に責任を負う」という、4つのキーワードを含んだ社会づくりをめざすものです。

市民の参画で公正な社会を

このような新しい動きは、昨今の時代の大きな変化に対応するものです。少子高齢化が進み、情報通信の進化による、産業構造の変化や地域、家庭の急激な変化に対応するには、行政の力だけでは不十分です。市民が参画して、行政と共に、地域活動や環境への働きかけを進めていくことが不可欠です。

男女共同参画や消費者問題での長い間の努力が、実を結びつつあります。この流れを皆でさらに推し進め、次の世代に繋げていきましょう。

開館10周年記念マーク(有馬真喜子さんの写真右)は、AIM登録団体会員・三堀美奈さん(砂川町)の作品です。



男女共同参画と消費者問題は 21世紀の重要課題

開館10周年 記念講演会

しいのです。

これからの消費者は？

一方、消費者問題に視点を移すと、従来の「消費者保護基本法」から「保護」が取れて、「消費者基本法」となり2004年6月から施行されました。

その中で、消費者は保護される存在ではなく、①安全を求める権利、②知らされる権利、③選ぶ権利、④意見を聞いてもらう権利、⑤救済をもとめる権利、⑥消費者教育を受ける権利、⑦団体を組織して活動する権利の7つの権利を持つと同時に、責任を持ち自立した消費者であることが求められています。

「男女は社会の対等な構成員である」「社会のあらゆる分野に参画する機会が保証されている」「男女は均等に利益を享受できる」「共に責任を負う」という、4つのキーワードを含んだ社会づくりをめざすものです。

その重要性は、総理大臣の下に置かれた4つの重要施策に関する会議のひとつが男女共同参画会議であることから理解できると思います。

男女共同参画は人づくり

こうした体制が進められる男女共同参画に求められているのは「人づくり」です。他の重要課題である経済、科学技術の振興、防災など、どれをとっても担っていくのは人の力です。社会づくりには人を育てることが大事で、しかも男性だけ、あるいは女性だけではなく、男女ともに力を合せてよりよい社会を作り上げていくことが大切で、望ま

参加者のみなさんからの声

- 男女共同参画社会のお話でしたが、今まで家庭の主婦として余り関心を持っていませんでした。これからはこういう機会がありましたら参加して、意識の向上をめざしたいと思いました。
- 講師の方は多くの経験を積み、ご活躍なさってきた方だけにとても説得力のあるお話でした。理想の社会を実現するためには一人ひとりの意識を高める事が大切なんです。
- 消費者の力がいかに大きいか、大変勉強になりました。消費者の権利と責任を考えさせられました。情勢はどんどん変化していくので取り残されない生活をしていきたいと思いました。
- 男女共生は人づくり、消費者は権利を主張するとしても必要があると思いました。審議会委員の方の顔が見えて良かったと思います。今後も女性のためにお力をおかし下さい。
- 社会の時間的な流れ、現状についてよくわかりました。四十代の私たちは変革期を担う世代です。迷ったり惑う事も多いですが、活動を続けていく事が社会を変えていく力になると信じてこれからも続けていきたいと思いました。

きょうの一言

きょうの一言

きょうの一言

きょうの一言

エンパワーメント講座

今年で第9期を迎えた「女性のためのエンパワーメント講座・ワークショップ」に挑戦。



「コレって当り前？」手づくりの寸劇

講師に関東学院大学非常勤講師、プランニングアドバイザーの結城美恵子さんを迎え、ジェンダー問題をテーマに参

立川リフォーム友の会

今年で創立31年目。当初から活動場所に不自由していたことから、設立を願う市民の準備会に加わり、リフォームの設立には、初めから積極的に加わってきました。現在は、ミシンやアイロンの揃ったアイムの作業室を拠点に活動しています。



フィナーレは全員が舞台上ぞろって

く広がりました。

10月のファッションショーでは、創意工夫を凝らしたリフォーム衣裳で舞台上立つ、会員の輝く笑顔に暖かい拍手が寄せられました。

市民公募作品として、洋服のハギレを貼ったうろこが踊るこいのぼりも登場。

これからも、リフォームを通して物を慈しむ心を伝えていきます。

アイムフォーラム実行委員会

3月開催のアイムフォーラムの企画・運営を担っています。公募制で、女性と男性が一緒に活動しています。委員会は原則として月1回、夜に

おもちゃの病院

アイムや公民館、児童館などで、年5回、もう使えないとあきらめていたおもちゃを修理しています。先生は、修理に使ういろいろな道具や部品を会場に持ち込んで、分解したりハンダでつなげたり、針と糸で縫い合わせたり。部品がなくても、アイデアと技術で代わりの部品を作っ

した。開催前の不安をよそに当日は大いに盛り上がり、メンバーたちはひと安心。「最後までやり通せるかな不安だったけど、みんなのおかげでやってこれた」「仲間を力を出し合うおもしろさを知った」「今までは悩みを打ち明けられなくても、これからは「こんな意見もあるよ」とアドバイスできそう」等々思い思いに講座の感想を話してくれました。

それぞれに力をつけたメンバーたち。自主グループとしての登録も予定され、今後の活躍が楽しみです。

めざせ☆シンプルライフの達人(講座)

毎日の、果てしないように思える家事も、ポイントを押さえてしまえば、こんなにシンプル。しかも充実感たっぷり。

家事の社会化が進んだとはいえ、生活の技術まで手放していませんか。アイムの作業行われていきます。

実行委員は、「男女共生社会の実現」というアイムの目標に積極的に賛同して応募した人だけでなく、アイムに入り込んでいる職員に口説かれた人もいて、応募動機はさまざまですが、限られた予算でよりよいものを、多くの市民に来てほしいという思いで、和気あいあいとした雰囲気の中、熱心な話し合いが展開されています。

くらしフェスタ立川実行委員会

「みんなの消費生活展」が02年、30回目を機に「くらしフェスタ立川」に衣替え。今年で3回目を迎えます。実行委員会は20近い団体の参加により、暮らしを取り巻くさまざまな問題の中から、今年は、食・環境・子育て・男女共生の4つのグループに分かれて活動中。

フェスタは来年2月に「アイム」で探そう。あなたのくらしをテーマに開催。続く1週間をフェスタ週間として、情報発信、体験コーナー、子どもから大人までが参加するポスター展、講習会など盛りだくさんのプログラム。市民参加型の、暮らしの知恵がいっぱいの催しです。

スローフードをすすめる会

市が公募する「消費者問題研究員」の応募者がメンバーで、消費生活に関するさまざまな問題について考え学習しています。本年度は、運動の広がりをみせている「スローフード」について学習。スローフードについて学習。スローフード

「直るかな?」と不安そうに見ていた子どもの顔が「直ったよ」の一言でバツと輝く。これがこの病院の一番の魅力かもしれません。



絹のスクーフも自分で洗えるのね!

花木トークサロン

毎月、第二木曜日午後2時から2時間、「肩ひじはらな自由なおしゃべりの場」と

室や料理実習室を使い、4回にわたって、掃除や、衣類の整理のコツ、家計のたて方、食事づくりなど、くらしを振り返りました。

毎月「テーマ」にそって話し合いを始めるのですが、時の経過につれ興にのり、テーマを超えて話題は多彩に広がっていきます。

中高年の地域活動参加のきっかけに、気軽に参加できる場としておすすめています。

料理講習会も開いています。また、学習や料理実習だけでなく、スローフード(日本型食生活)の視点から、食生活や子どもの食育の見直しを提言するなどしています。

「くらしフェスタ立川」(前出)にも参加して、料理講習会の開催ほか、市民のみならず、健康に良い食生活情報発信する予定です。

10月17日(日)、「立川の男女共同参画はどうなってるの?」をテーマに、立川市議会の全女性議員5名と語る会

「直るかな?」と不安そうに見ていた子どもの顔が「直ったよ」の一言でバツと輝く。これがこの病院の一番の魅力かもしれません。

アネタイム エンパワメント ネットワーク

10月17日(日)、「立川の男女共同参画はどうなってるの?」をテーマに、立川市議会の全女性議員5名と語る会



10年目のアイム

出会えてよかった

I'm glad to see you!

「アイム」の名前は「アイム グラッドトゥーシー ユー (I'm glad to see you)」 「あなたに会えて、うれしい!」からきています。名前どおり、開館以来、たくさんの人たちがアイムで出会い、男女共生活動や消費者活動など、みんなが元気になるさまざまな活動がアイムで実施され、多くの情報が発信されてきました。

「あなたもアイムでいい出会い、みつかけませんか?」

アイムには、団体利用のための学習室だけでなく、1人でも気軽に利用できるスペースも充実しています。広々とした静かなロビーには、男女共生社会の実現に向けたさまざまな情報や消費生活相談の事例パネルなどの常設展示、生活用品の「譲ります」情報、登録団体の催し物情報掲示板、資料室などがあります。また、団体のための印刷室(実費負担)もあります。ぜひ、お立ち寄りください。

5Fロビー 大小とりまぜ、いすていブルが、品良く並んでいます。会場の下調べに来たという

は、「譲ります」の情報カードを掲示しています。 「譲りたい」生活用品があったら、アイムまでご連絡ください。電話でも結構です。消費生活センター係が、情報の仲介をします。

女性の人像 理科室にあった人体模型、覚えていたか。不思議に思わなかったけれど、みんな男性でした。アイムには、誰にもこびず、しっかりと床を踏みしめて立つ女性像があります。もちろん女性の臓器が収められていて、形や位置を確かめることができます。

車いすにも優しいゆつくりエレベーター 分速60メートル油圧式。優しくドアが開閉します。ノンストップなら40秒で5階に着きますが、途中、2階と4階で止まるとなると、なんと1分50秒もかかることも。みなさま、アイムにはくぐれも慌てずおいでください。

一人でもやまないで... 相談は無料、秘密厳守 カウンセリング相談 毎日の生活のなかで困っていることやどうしたらよいかわからないでいることなどに専門のカウンセラーが面接や電話であなたの悩みを整理したり、解決の糸口を探ってお手伝いをします。

解決のためのあつせんや被害防止のアドバイスをしていきます。相談は月1金曜日の午前9:00~午後4:00(正午~午後1:00を除く)電話か来所で(0528-16810)。

消費生活相談 商品やサービスの購入に伴う様々な相談や苦情に、専門の消費生活相談員が、問題

(平成15年度)相談の多かった商品やサービスのあらし

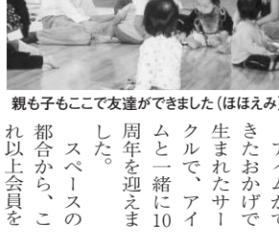
分類	件数	主な内容
運輸・通信	1,016	身に覚えのない有料サイト利用料の不当請求など
融資サービス	250	サラ金・ローンによる自己破産、多重債務など
レンタル・リース・貸借	170	賃貸アパートの敷金返還トラブルなど
相談その他	75	生活全般に関わる問合せ
書籍・印刷物	73	新聞契約トラブルなど
教室・講座	70	資格商法の2次被害など
工事・建築・加工	57	リフォーム工事など

保育室から 子育て中のみなさんへ 応援メッセージカード ボクがいる時は 保育室が開いてるんだヨ!



健康サロン ほぼえみ保育のついで 毎月、火・金曜日に、0~1歳児とその保護者の方が集まり交流しています。

矢の如しです。これからは子どもたちと一緒に時間を大切にしていきたい。卒業した子どもたちの姿を見聞きするたびに月日の流れを感じます。 ●わが子に泣かされると心配してくださいます。 ●安心してくださいます。 ●子どもたちはたくましい。 ●子どもたちから元気と若さをもたらしています。



親も子どもと友達ができました(ほほえみ)

アイムができたおかげで生まれたサークルで、アイムと一緒に10周年を迎えました。 ●これからの楽しい保育室を、たくさん利用してください。 ●子どもたちが元気一杯過ごせるように。 ●そして、子育て中の方も思い切り活動してください。

アイム・この人

「女性の集う場がほしい」…。
ひたすらな思いがアイムにつながりました。



柴 潔子さん
立川市婦人団体連絡協議会会長・第2・3回くらしフェスタ実行委員会委員長・保護司・立川市保護司会会長、立川市青少年問題協議会委員。砂川町在住。

●どんな女性たちの活動があったのですか？

戦後の荒廃の中、昭和25年ごろから、市内にはいくつもの女性団体が活動していました。当時、自治会（町内会）での女性の仕事は、お茶や食事の世話、掃除などの雑事ばかり。もっと女性の力で地域貢献や女性の生活改善といった活動ができないかと勉強を始めたわけです。

そうした女性団体が、昭和30年にまとまって「婦人団体連絡会」が結成されました。さまざまな活動や行事を通じて生まれた強い絆や、仲間とともに成長する喜びや充実感があつたから頑張れたのでしようね。

昭和38年、立川市と砂川町の合併を機に、各地域の婦人団体も合併して「立川市婦人団体連絡協議会」（以下、婦連協と略す）となりました。大げさかもしれませんが、立川中の女性たちが手をつないだわけです。ところが、活動

が広がるにつれて集まる場所の確保が大変となり、公民館や各地の集会所を点々としていたこともありまして。

ですから、婦連協は創立以来「子ども連れでも使える施設を」と、婦人会館の建設を切実に思い、夢見るようになってきました。

石鹸を売ったりして自主財源を積み立てましたが、物価の高騰で断念。中央公民館の新築祝いにグラランドピアノを寄贈して終わりました（笑）。

これにとどまらず、市に請願書を出して熱心に運動を続け、これが、「女性総合センター・アイム」の建設につながったと思います。こうした先輩達の思いを、みなさんにも大切にしてほしいと思っています。

●50年目の活動に入るわけですが、今後の抱負は？

会長は私で4代目。諸先輩の後姿を追いかけてここまで来ました。母が地域で活動していた頃、あんなに熱心にはできないと思っていましたが、私も結婚して母となったら、子どもたちのために環境づくりや地域のあり方などに無関心でいられなくなり、20年前から母の跡をついでこの活動

に参加するようになりました。社会福祉と地域貢献が主な活動で、ボランティアそのもの。私自身は結婚して勤めは辞めましたが、この活動を通して、さまざまな人と関わり、多くのことを教わって成長させてもらいました。人の幅が広がったと思います。今も、地域事業への協力や勉強会、レクリエーション、研修旅行、「くらしフェスタ立川」や「よいと祭り」などへの協賛で忙しい限りです。

残念ながら、時代と共に退会する団体が増えて、若い人の参加がほとんどありません。共働きが増えてこのような活動への参加が難しいのが現状でしょうね。何とか若い世代につなげていきたいですね。50年を節目に、主婦だけでなく、結婚をしない選択をした女性たちも巻き込み、男女ともに暮らしやすい社会をつくるべく、いろいろな活動ができればと思います。

●くらしフェスタの実行委員長もされているそうですね

年代や活動分野の違う方々と喧々ごうごう、楽しくやっています。楽しんで活動するのが私のモットーです。他の地域に住む人にとって、アイムのような施設を持つている立川市はうらやましいかぎりなのです。せっかくなので、設備も生かすのは人ですから、たくさんの方が集い、楽しみ、成長する場として生かせたらと頑張っています。

アイム インフォメーション

問合せ ☎042-528-6801

アイムは、男女共生社会の推進と、消費生活の向上をめざす市民活動の拠点です。

催し

■第3回くらしフェスタ立川
「アイムで探そう あなたのくらし～体験！アイムワールド～」をテーマに2月19日（土）と20日（日）、女性総合センターの1階と5階で。メインイベントは4つのゾーン企画とホールイベント。企画・運営は、第3回くらしフェスタ実行委員会。

- 食のゾーン
食育について・野菜の「手ばかり」体験・15分でするバランスのとれた簡単メニュー、他。
- 環境のゾーン
立川の水について・新聞紙から作るブローチ、他。
- 子育てゾーン
遊びのコーナー・マイエプロンづくり、他。
- 男女共生ゾーン
人形劇で読む男女共生、他。
- ホールイベント
講演会（講師は宇都宮健児弁護士）・ケアミュージックコンサート・ファミリー映画会、他。
- その他
100円カレー・喫茶コーナー・ポスター展・骨密度測定・アクセサリーづくり・お茶席・赤ちゃん体操、他。

21日（月）～26日（土）はフェスタ週間。手づくり講習会、料理講習会、講演など。詳しくは「広報たちかわ」、チラシで。

■アイムフォーラム2005

「ナンバーワンよりオンリーワン」をテ

ーマに、3月6日「ヤ」13:30～16:00、女性総合センター1階ホールで。企画・運営はアイムフォーラム2005実行委員会。

- 第一部
ミュージカル。出演は新座ハンサムウーマン。
- 第二部
講演会。講師は玄田有史さん（東京大学社会科学研究所助教授）。詳しくは「広報たちかわ」で。

募集

■消費者農園は来年1月
平成17・18年度の約2年間、消費者農園で耕作したい方を、来年1月に募集します。今回募集するのは、柴崎第一農園と第2農園（いずれも柴崎町5丁目）の約240区画。1区画はおよそ10㎡で、利用料は2年間で3,000円。1人1区画に限ります。また、場所を特定することはできません。利用したい方は、「広報たちかわ」1月25日号をご覧いただき、往復はがきで申込んで下さい。希望者が多い場合は、抽選とします。問合せは、消費生活センター係へ。

お知らせ

■DV防止法が改正されました
DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）が改正され、12月2日から施行されました。主な改正点は、次のとおりです。
●殴る、けるなどの身体的暴力だけでなく、

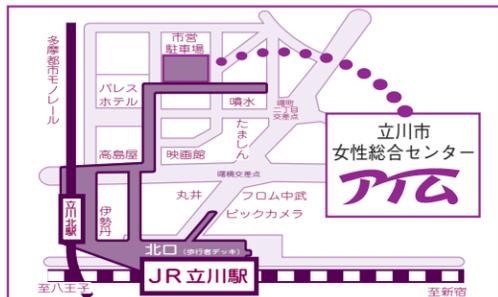
言葉や態度による精神的暴力も対象となりました。

- 離婚後に元配偶者から暴力を受けた場合も保護命令の申し立てができるようになりました。
- 被害者の子どもへの接近禁止命令を発することができるようになりました。
- 退去命令の期間が2週間から2か月に拡大されました。

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、配偶者または親密な関係にある男女間の暴力をいい、被害者の多くは女性です。女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されるものではありません。

■10周年記念号は「アイム・この人」

今回は、アイム開館10周年記念号として、おなじみの「立川・この人」を「アイム・この人」として、アイムにゆかりの深い方の1人である、柴潔子さんに登場していただきました。みなさんのお近くに「立川・この人」がいいたら、ご紹介ください。なお、編集委員による編集後記は、今回はお休みしました。



「意見・感想をお寄せください。」